2023年度の主な取組☆

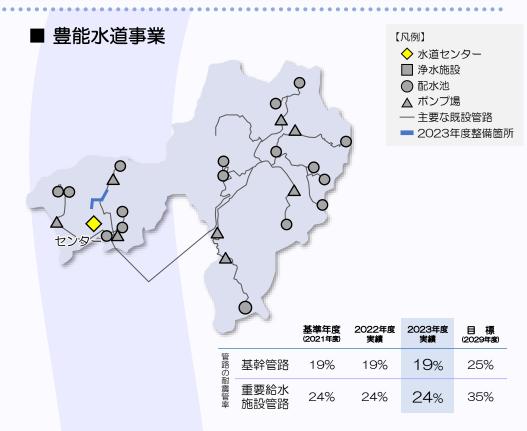
■ 市町村域水道事業(13水道事業)



市町村域水道事業の耐震化目標について教えて!

各水道事業で施設や財政等の状況を考慮し、「老朽度」や「管の種類」などから優先すべき施設整備や管路の更新・耐震化を計画し目標を設定しています。

また、一部の水道事業で管路の耐震管率の目標が基準年度と同じ値になっているのは、耐震管以外でも「布設された地盤の状況などから耐震性があると評価できる管」があり、これらが更新基準年数を経過していない場合は、計画期間中の更新を見込んでいないためです。



2023年度の執行額は0.8億円で、実施した主な事業は次のとおりです。



管路の更新・耐震化

■ 配水管布設替工事(ときわ台3工区) 更新時期を迎えた管路の更新・耐震化を実施しました。

> 2023年度 執行額 25百万円

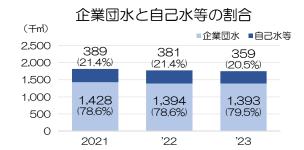
その他の取組

■ 2024年度の能勢町との事業統合に向けて準備を進めました。

■ 豊能水道事業

給水人口や給水量の推移





2023年度末の給水人口は18,056人で、前年度と比べて311人(1.7%)減少しています。

また、給水戸数は7,986戸で18戸(0.2%)減少しています。

給水量は1,752千㎡で、前年度と比べて23千㎡ (1.3%)減少しています。

財政収支

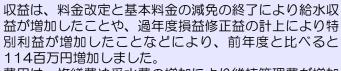
(単位:百万円、税抜)

	(十四: 日/313/)/(1/37/			
	収益的収支	2022決算(a)	'23決算(b)	差引(b)-(a)
収	益	629	743	114
	給水収益	378	474	96
	長期前受金戻入	131	130	△ 1
	その他収入	119	60	△ 59
	特別利益	1	79	78
費	用	642	645	3
	維持管理費	325	329	4
	減価償却費等	295	296	1
	支払利息	22	20	Δ2
	特別損失	0	0	0
単年度損益		△ 13	98	111

(単位:百万円、税込)

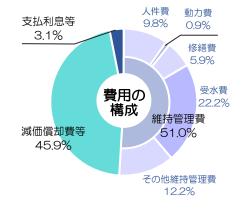
資本的収支	2022決算(a)	'23決算(b)	差引(b)-(a)
収 入	93	75	Δ 18
企業債	40	-	△ 40
国庫補助金等	20	21	1
その他収入	33	54	21
支 出	279	266	Δ 13
建設改良費	87	87	0
企業債償還金	192	179	△ 13
その他支出	-	-	-
収支の差額	△ 186	△ 191	Δ5

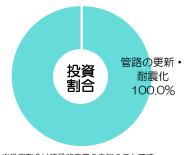
*収支の差額については、積立金等で補てん



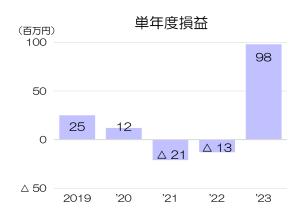
費用は、修繕費や受水費の増加により維持管理費が増加 したことなどにより、前年度と比べると3百万円増加し ました。

これらの結果、単年度利益は前年度に比べ111百万円 増加し、98百万円となりました。





財政収支の推移







経営評価



〈算出式〉経常収益/経常費用×100

給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表し、100%以上となっていることが必要です。

2023年度の実績は、計画を達成しました。また、前年度と比べ、給水収益が増加したことから、5.0ポイント増加しています。

【参考:2022年度類似団体平均値105.9%】



〈算出式〉企業債現在高合計/給水収益×100

給水収益に対する企業債の割合であり、企業債残高の規模を表します。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているかをみる指標です。

2023年度の実績は、計画を概ね達成しました。また、前年度と比べ、給水収益が増加し、企業債残高が減少したことから、131.2ポイント減少しています。

【参考:2022年度類似団体平均值403.7%】



〈算出式〉供給単価/給水原価×100 ※供給単価=給水収益/有収水量

○:計画を達成 △:計画を概ね達成(計画値との乖離が5%未満) ×:計画を未達成

給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているか を表します。

2023年度の実績は、計画を概ね達成しました。また、 前年度と比べ、給水収益が増加したことから、17.9ポイント増加しています。

【参考:2022年度類似団体平均值92.2%】